

10月18日

テーマ：弟子の足を洗うイエスさま

聖書箇所：ヨハネの福音書13章1～17節

◆今日のみことば

それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。
ヨハネの福音書13章14節

◆メッセージ

あなたは、ほかの人からたいせつにされ、親切にされたことがあるでしょうか。そういうときは、愛されていると感じてとてもうれしい気持ちになりますね。

聖書には、神さまが私たち人間をととても深く愛してくださるとくりかえし語られています。あなたは神さまのすばらしい愛を受けとめていますか。

イエスさまはどのように愛を示してくださっているでしょうか。



間もなく捕えられ十字架で死ぬというこのたいせつなときに、イエスさまは、弟子たちの汚れた足を洗い手ぬぐいでふいてくださいました。これは、一番下の召使いがする、大変な仕事でした。だって、旅をしてきた足は、どろだらけでしたから。それなのに尊敬する先生であるイエスさまがしてくださるなんて、弟子たちにはもったいないことだと感じられたようです。これが、イエスさまの示された愛でした。人の汚れたところをきれいにするため、自分が汚れることをいや

がらず、それどころか自分から進んで引き受ける心です。この心をもってほかの人に仕えること、これがイエスさまの教えてくださった「愛する」ということなのです。

あなたは、イエスさまのように、ほかの人の汚れた足を喜んで洗ってあげることができるでしょうか。それとも、「なんで私がそんなことをしなくてはならないのか!」と怒るでしょうか。イエスさまは、もしあなたがイエスさまの弟子として従うのなら、このときのイエスさまの心にならうことがたいせつだと教えてくださったのです。あなたのここが悪い、と人の汚れを指さすのではなく、その汚れをきれいにするために、かかわること。みんなお互いに、このような愛の心で互いに仕え合うとしたら、どんなにすばらしいことでしょうか。

◆お祈り

「自分のことばかりでなく、ほかの人のために喜んで仕えることができるように、イエスさまのように愛する心を与えてください。」